



武さん

第22号

発行者

山形県立村山産業高等学校
PTA 広報委員会

編 集

山形県立村山産業高等学校
総務部
TEL 0237-55-2538



創立 10 周年記念式典



創立 10 周年記念式典



創立 10 周年記念式典・生徒発表会



文化祭・餅振る舞い



高P連・東北大会



徳内まつり・保護者参加



会員の皆様には日頃よりPTA活動に対してご理解、ご協力を頂き誠にありがとうございます。

さて、本年度本校は、創立十周年の節目を迎え、新たな一歩を踏み出しました。これまでの道の先に、在校生や今後入学してくれそうです新入生が新たな道を切り開いてくれると思いますと、胸が高鳴らずにはいられません。

学校、卒業を迎える三年生、在校生それぞれの未来がより輝きますよう、先生方、地域の皆様のご指導の下、PTAとしてそれぞれの一歩を後押しできるように、これからも活動を続けていきたいと思ひます。



PTA 会長

植松大祐

それぞれの新たな一歩へ

会員の皆様には日頃よりPTA活動に対してご理解、ご協力を頂き誠にありがとうございます。

とて、本年度本校は、創立十周年

出しました。これまでの道の先に、在校生や今後入学してくれそうです新入生が新たな道を切り開いてくれると思いますと、胸が高鳴らずにはいられません。

学校、卒業を迎える三年生、在校生それぞれの未来がより輝きますよう、先生方、地域の皆様のご指導の下、PTAとしてそれぞれの一歩を後押しできるよう、これからも活動を続けていきたいと思ひます。



校長

坂井 孝朗

「ワンチーム村産」
生徒・教職員・保護者の絆

保護者の皆様には、日頃から本校PTA活動に御協力を賜り、深く感謝を申し上げます。

九月挙行の創立十周年記念式典では、多くの皆様から御臨席を賜り、PTAをはじめ各方面より、ただいでいる御支援と御協力が集約された、素晴らしい式典となりました。

農・工・商三学科を有する本校では、地域を学びのフィールドに「社会に開かれた教育課程」を推進している中、皆様の教育活動への御協力と、学校と協働したPTA活動の実践は高く評価を受け、本年度の「文部科学大臣表彰」並びに「県優良PTA表彰」の受賞に繋がっております。これらはひとえに、皆様と教職員が連携・協働を重んじ、教育活動に取り組んできた熱意の賜物であります。

生徒は本年度も各学科・各分野で目覚ましい活躍を挙げております。卒業生には「ワンチーム村産」の絆を忘れず、本校での学びと誇りを胸に、これからの地域、そして山形を担う人材として、活躍してくれること期待しています。

一年を振り返って

P T A 副会長 渡辺敏充

今年、村山産業高校は開校十周年を迎えました。記念式典では、これまでの歩みや生徒たちの活動を振り返り、学校としての成長を改めて実感する機会となりました。

特に印象的だったのは文化祭です。生徒たちが工夫を凝らした出店や学科の特産品販売が多く、来場者で賑わい、P T A 主催の餅振る舞いにも長い行列ができました。地域の方々のご参加も多く、毎年楽しみにされている行事として、学校と地域の絆を強く感じることができました。この文化祭は、生徒たちの成長や地域との結びつきを深める大切な行事です。これからも地域とともに歩み、さらなる発展を目指してもらえれば幸いです。

創立十周年、そして未来へ！

P T A 副会長 平山龍一

創立十周年という大きな節目を迎え、本年度は盛大に記念式典を挙行できました。特に、生徒の研究発表は将来を期待させるものであり、生徒たちの成長と、地域への貢献を実感し、保護者として大きな喜びを感じました。

P T A 活動では、昨年から復活した村産祭でのもち振る舞いが大好評！共に活動しました。

P T A 仲間との絆を深める良い機会となりました。来年度は、さらに保護者同士の交流を深め、より良い学校づくりを目指します。生徒たちの未来が素晴らしいものになるよう、今後も学校を支え合いましょ。

一年を振り返って

研修委員長 佐藤慶久

徳内祭り、もち振る舞いなどの学校行事、また研修委員として高P連研究会に参加させていただき、たくさんのお会いや学びを得ることができ充実した一年となりました。私も息子と共に卒業となりますが、これからも村山産業高校の益々の活躍と発展を願っております。最後にこの三年間、先生方、P T A 役員の皆様には大変お世話になりました。



一年を振り返って

広報委員長 下山国宏

村山産業高等学校が創立十周年を迎え、記念式典等色々な行事があり、生徒、先生方、P T A 役員の方々は忙しい一年だったのではないのでしょうか。うちの娘も三年生ということでは何かと忙しい時期のようでした。全国大会等他の高校では体験できないような事をこの一年でたくさんできて本人も大変喜んでおりました。これも先生方、仲間たちのおかげだと感謝申し上げます。

一年を振り返って

生活委員長 庄司春奈

二〇二四年、学校の一年を振り返ると、特に印象深かったのは九月の創立十周年記念式典です。先生方やP T A の協力のもと、多くの来賓の方々をお招きし、盛大に執り行うことが出来ました。保護者や子供たちにとっても、貴重な体験だったと思います。この節目を大切に、今後の村山産業高校の益々のご発展をお祈りいたします。

「振り返り」

三学年委員長 阿部正任

今年度は創立十周年記念式典も執り行われ、その中でも村山産業高校のこれまでの取り組み

が大きく評価された一年でありました。口頃より地域に根差した取り組みが、多々新聞などに取り上げられたことを誇らしく思います。

今年度卒業される三年生においては、コロナ禍中での入学試験、学校生活となりましたが、「村産」で培った力を、次の飛翔へと望みます。



一年を振り返って

二学年委員長 柿崎広志

向春の候、日頃よりP T A 活動へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年度は、徳内まつりへの参加、村産祭でのもち振る舞い、節目となる創立十周年記念式典など様々な行事を無事に終えることができました事を感謝いたします。第二学年におかれましては、今後の進路を含め、生徒達が残りの学校生

活を悔いなく終えることが出来るよう、引き続きご支援をお願いいたします。

一年を振り返って

一学年委員長 笹原勝民

今年度、一学年委員長として、この一年間を振り返り、保護者の皆様と共に活動できたことに感謝しています。特に創立十周年記念式典では、多くの方々との協力により、素晴らしい式典を開催できました。この節目の年に関わることができ、学校と地域の絆を深める貴重な機会となりました。来年度も学年全体の発展に向けて協力し合い、より良い環境づくりに努めていきたいと思っています。引き続きご支援・ご協力をお願いいたします。



生徒会活動報告

前期生徒会役員

会 長	三年一組	増川琳太
副会長	三年四組	佐藤颯俊
副会長	二年二組	佐竹水雪雨
議 長	三年二組	原田陽生
副議長	二年四組	山口晃季

後期生徒会役員

会 長	二年二組	佐竹水雪雨
副会長	二年一組	門間彩夏
副会長	一年三組	板垣哉人
議 長	二年四組	山口晃季
副議長	一年五組	佐藤悠月

前期生徒会長 増川 琳太

今年度は「願いを叶える生徒会」をスローガンに掲げ、一年間様々な生徒会活動を計画・実行してきました。特に村産祭で全校芋煮会を実施できたことが一番の成果だと思っています。村産の特色を活かしてサトイモを生徒が一人から作り、これまでにない新しい村産祭にすることができました。

今年度は創立十周年を迎えて大きな節目の年となりましたが、これから地域の方々と連携しながら生徒一人ひとりの個性を活かして村産、そして地域全体の発展に向けて精進していきます。

後期生徒会長 佐竹 水雪雨

今年度は「願いを叶える生徒会」というスローガンのもと、生徒主体のオープンスクールを実施し、生徒一人ひとりが能力を最大限に発揮し、学校の魅力を伝えることができました。また、文化祭では全校芋煮会を生徒からの要望に応え開催しました。主な材料である里芋を生徒が栽培し、下処理から調理まで行う新たな取り組みを行い、生徒会のスローガンに沿った形で文化祭を運営できたと感じております。今後は、生徒の意見収集のための意見箱を設置し、生徒会の回答を掲示して、意見と返答を全校で共有できる環境作り而努力して参ります。



各学科の活動

農業経営科 志村 直太郎

猛暑の夏が日常と化し、農作物の栽培により科学性が必要となる時代となってきた中で実情を踏まえた研究テーマを設定し、研究活動に取り組みました。畜産部門では「持久的飼料の生産」、果樹部門では「双子果発生メカニズム解析」と農業が抱えている課題に沿った取り組みを行いました。「なぜそうなったのか」を繰り返し、学習を深めていくことが科学性に即した農業に必要な要素です。スマート農業を駆使していくためにも日頃から疑問、気付きを大切に授業に望んでいきたいと考えます。

みどり活用科 安達 鉄平

本学科は、校外で学習成果を発表する場が多くなりました。西蔵王公園や空港花壇の植栽、特別支援校や小学校、地区公民館とのワークシヨップ・交流活動、スマート林業の実践、樹木再生の取り組み、各種コンテストでの入賞など、いずれも生徒の熱心な取り組みの成果であり、結果として生徒が一層成長しました。その様子を数多くマスコミの方々に報道頂いた結果、本校の活動成果について広く周知

されたと思います。保護者・地域の皆様の温かい御支援・御協力により、様々な活動が実施できました。ありがとうございました。今後も応援よろしくお願いいたします。

機械科 布宮 裕基

機械科のビックニュース・ベスト3を申し上げます。第一にジュニアマイスター受賞者が、ゴールド4名、シルバー2名、ブロンズ6名と、昨年度に引き続き多くの生徒が受賞する予定です。第二に機械探究部で製作したロボットが、メカトロアイデアコンテストで準優勝し、再び全国大会に出場することができました。第三にフューチャープロジェクトの一環として、二回目の「全日本製造業コマ大戦むらさん場所」を開催することができました。機械科の二、三年生が探究活動を通してコマを作成し、一、二年生が大会運営する等、機械科の先生・生徒全員で協力して大会を成功させることができました。大変でしたがとてもやりがいを感じました。

電子情報科 庄司 洸太

私は十一月二十二日から愛知県で行われた第六十二回技能五輪全国大会（ウェブデザイン職種）に出場してきました。この大会は、全国からウェブサイトの制作に精通したスペシャリストが多く出場しており、競技中はプレッシャー

を感じながらも、できる限りのことをしました。結果は納得いくものではありませんでしたが、この大会に出場できたのもサポートしてくださった先生方や共に研究を進めてきた仲間のおかげです。これからは大会や研究で身につけた技術と知識を活かし、学校生活や進学先での活動をより良いものにしていきたいと思っています。



流通ビジネス科 植松 優希奈

流通ビジネス科では、今年度で四年目を迎えた地元の飲食店とのコラボメニュー開発で、例年とは異なった夏の新メニューを考案しました。麵屋殿さんと打合せを行ったうえで、自分たちで一から商品開発に取り組みました。店舗でのアンケートから顧客ニーズを明確にし、どうしたら売れる商品になるか試行錯誤を繰り返しました。4つの班でプレゼンテーションを行い、今年度は山形のだしを使った冷やし中華を販売しました。企画立案からPOPの作成、試食会での意見交換など、本格的な商品開発を学ぶことができ、貴重な経験となりました。

三年間の思い出

三年一組 海藤 宗

私達の入学当初は新型コロナウイルスが流行し、マスクをしていたためお互いの顔がよくわからない状態からのスタートでした。三年一組のクラスの中にはスポーツにしか特化していない人、農業にしか特化していない人など、極端な人間が多いです。そのほかにも、部活動の部長をしている人や、委員会の委員長をしている人、生徒会長の増川くんまでもいました。個性豊かな人たちがいて、意見が食い違うこともありましたが、最後はみんなが楽しく過ごせて充実した三年間にする事ができました。これからはそれぞれの進路に向かいますが、三年間で学んだことを今後に活かしていきます。



三年二組 下山 こも

三年間のすべてが思い出で、こんなに变な十四人が、騒いで喧嘩して恋して泣いて笑い合って、誰ひとり欠けることなく卒業までの

三年間を共に歩めたことは一生の宝物。その中で一番の思い出はテストだと思う。こんなに協力し合おうんだと思うほど二組のテストは他クラスとは違う。歌を作って花の名前を暗記する園芸活用コースの隣で、光合成の化学式をお教のように唱えている緑地保全コース。それぞれのコースで個性が溢れ出していた三年間のテストだった。いつかみんなと、お酒を飲みながら思い出話ができることを期待して。まじで愛しています、三年二組ありがとう。



三年三組 深瀬 ひかる

これまでの三年間を振り返り、思い出されるのは修学旅行と三年生最後のクラスマッチです。修学旅行では、日本の文化に触れ、視野を広げることが出来ました。また、仲間との友情を深めた貴重な思い出となりました。クラスマッチでは仲間と一丸となり、競技や応援を通して団結と協力する事の大切さを学ぶことが出来ました。毎年作ったクラスTシャツは、また着る機会があるか

もしれないので大切にしまっておいてください。
戸田先生をはじめ、高校で出会った仲間達は、私たちの人生においてかけがえのない存在です。感謝の気持ちを胸に刻み、それぞれの進路で頑張っていきたいと思っています。



三年四組 佐藤 颯俊

私が高校三年間で特に思い出に残ったことは2つあります。
1つ目はクラスマッチです。私のクラスは普段はいい意味で力を抜いているクラスです。しかしやる時は全力を出せるクラスです。1年のときは先輩方に完封されましたが、三年次は総合成績三位となかなか凄い成績でした。
2つ目は文化祭です。一年次は射的、二年次はフルードドリンク、三年次はたこ焼き、焼き鳥、フライドポテトと、四組らしい屋台を出店することができました。また、クラスCMではCM大賞をとることができました。制作に協力してくれた方々あり

がとうございました。個性豊かで、大変仲が良く平和な四組で過ごせて最高に幸せでした。

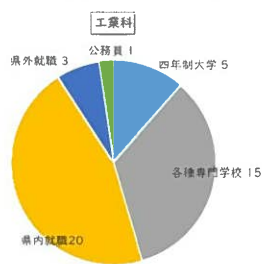


三年五組 高橋 菜々子

三年間で特に思い出に残っていることは修学旅行とクラスマッチです。高校生活の中で一番大きなイベントである修学旅行で京都や大阪、奈良に行き、普段はできないような経験をすることができました。その中でもカップヌードルミュージアムはオリジナルのカップヌードルを作ることができとても楽しかったです。また、クラスメイトとも班行動を通してさらに



各科の進路状況



仲を深めることができて良かったです。クラスマッチでは、三年間いろいろな種目で男女共に入賞することができて嬉しかったです。少ない人数の中、みんなで協力していい結果を残せたことはとてもいい思い出です。

部活動紹介 (文化部編)

又新連部

村山市の祭り「むらやま徳内ばやし」に参加することを部活動の主な目標としている又新連(ゆうれん)部です。村山農業高校時代からの演舞・囃子を受け継ぎ、練習しています。現在少人数での活動ですが、良い演舞を届けられるように日々の練習を頑張っています。



書道部

今年度は、三年生一人、二年生四人、一年生五人の計十人で活動しています。コーチの工藤先生から優しく丁寧に指導していただき、三つの書道展で特別賞を四名、大ケヤキ全国書道絵画展では優秀団体賞を受賞できました。また、夏から全紙に挑戦し、県高校総合文化祭で四名が入選しました。限られた時間の中で、書を楽しみながら、技術の向上を目標に頑張っています。

美術部

今年度の美術部は、「勇往邁進」を目標に、自分の表現したいものに向かって突き進んでいけるよう積極的に制作してました。特に三年生は、油彩やアクリル絵の具で試行錯誤しながら自分のイメージを再現しようと努力する姿がありました。また、部員が少ないため、他の部を引退した先輩にも加わっていただき、県高総文祭をはじめ様々な大会に参加し、上位の賞を受賞することができました。今後さらに上を目指していきけるよう頑張っています。



吹奏楽同好会

部員が二人ということで、コンクールやアンサンブルコンテストには出られず、発表の場が限られました。また、老人ホームや幼稚園でのクリスマスの時期の交流活動も企画し、練習しましたが、施設ではコロナやインフルエンザの患者が増加していることもあり、実現できませんでした。結果、部活動紹介と村産祭での演奏が中心になりました。その中で、プロのクラリネット奏者の方からレッスンを受けながら、音楽的なレベルの向上を目指して頑張っています。

家庭部

家庭部は三年生三名、二年生十二名一年生二名、合計十七名で活動しています。主な活動内容は、袋物、ハーバリウム、羊毛フェルトなどの小物の製作や部員で育てた野菜を使ったお菓子づくり、家庭科技術検定三級の取得に向けた学習です。今年の文化祭では、手作りクッキーや巾着、羊毛フェルトのバッジなどの小物を販売し大好評を得ました。このように部員が協力し合いながら楽しく活動できた一年でした。

農業技術部

農業技術部といえばポップコーンとキムチ。この二つが定着した一年だったのではないかと思います。農業技術部では主に、野菜の播種から収穫、そして加工まで一貫して行うのが魅力的です。他の部活動と比較すると少人数の部ですが、先輩が後輩をリードし農業の知識と技術を継承していくところが農業技術部の良いところです。農業の楽しさに直に触れられる農業技術部が今後も楽しく活動できることを願っています。

農業科学部

農業科学部は、一年生八名、二年生八名の計十六名がサトイモ・芋煮研究班とエンドファイト研究班の二つの班に分かれて活動を行っています。サトイモ・芋煮研究班では、サトイモを八月に収穫する超促成栽培の研究。エンドファイト研究班では、ソバやイネの成長を助けるエンドファイトといった微生物の研究を行っています。これらの活動で得た成果を大会や地域へ

伝え、様々な形で評価されています。



機械探究部

機械探究部は、新一年生五名が入部し、三年生四名、二年生一名の合計十名で活動しています。今年も色々なコンテストに出場して表彰されました。



①自動車技術独創アイデアコンテスト最優秀賞(高橋京五)

②メカトロアイデアコンテスト県大会準優勝・全国大会出場(二、三年生)

③高校生ロボットコンテスト特別賞(一年生)

その他にも、創立十周年記念の焼印や缶バッジの製作、マルシェやオープンスクールでものづくりワークショップを手伝うなど幅広く活動しました。

電子技術部

私たち電子情報技術部は年間をとおして数多くの大会に出場してきました。六月の高校生ものづくりコンテストでは、電気工事部門、電子回路組立部門に参加し、七月はWRO山形県大会、十月はマイコンカーラリー県大会などです。大会ばかりでなく、電子情報科の公開講座にも取り組んでいます。特に県のカーボンニュートラル大使の取り組みでは、部員みんなが協力し活動することができました。

ビジネス部

ビジネス部は情報処理、商業研究の二班で活動しています。情報処理班は、十分間により多くの文字を正確に入力することを競うワープ競技に取り組んでいます。今年度は、開校以来初の全国大会出場を成し遂げました。新人戦に当たる東北大会では、三年連続出場を果たし、前年よりも大幅に順位を上げた結果となりました。商業研究班は、県生徒商業研究発表大会に出場し、優良賞を受賞しました。地域の店舗への撮影や調査を実施し、村山市のPRや経済効果を考えた研究に取り組んでいます。



後期部活動等結果報告

<運動部>

■最北地区高等学校新人体育大会

・柔道部

男子団体	2位	
男子73kg級	3位	後藤倅輝
男子81kg級	2位	中鉢怜夢

・硬式テニス部

男子団体	2位	
男子ダブルス	3位	倉恭史郎、大竹蓮

・剣道部

男子団体	1位	
------	----	--

・卓球部

男子団体	3位	
------	----	--

■県新人体育大会

・自転車競技部

スプリント	1位	軽部翔太郎
	2位	有路大真
	3位	平山敬大
1kmタイムトライアル	1位	軽部翔太郎
	2位	丹野敦尋
	3位	平山敬大
ケイリン	1位	軽部翔太郎
	2位	平山敬大
	3位	丹野敦尋
チームスプリント	1位	平山敬大、丹野敦尋、軽部翔太郎
個人ロードレース	1位	軽部翔太郎
	2位	小坂怜央
	3位	平山敬大
トラック総合	1位	
ロード総合	1位	
学校対抗総合	1位	

・陸上競技部

男子やり投	1位	仲嶋琉衣【東北大会出場】
	5位	佐藤拓海
	7位	後藤智春

◆第32回全国高等学校ロボット競技会栃木大会

55位/96チーム 予戦敗退
高橋京吾、竹村忠直、清野倅来、遠藤誉仁
星川怜央

ロボット名：S・H・R

◆第8回やまがた高校生ロボットコンテスト

「ロボシューター」大会

リサイクルセンター賞
渡辺桜雅、阿部遼、天野峻瑛、工藤千晴
松田歩輝
ロボット名：サムランX

・電子情報技術部

◆第26回マイコンカラーリー山形県大会

種目 Basic Class 奨励賞松野優鷹(3-4)

・農業クラブ

◆令和6年度 山形県学校農業クラブ連盟

プロジェクト発表会

最優秀	分野Ⅱ類	下山こも	他3名
優秀	分野Ⅰ類	松田妃瑠奈	他9名
優秀	分野Ⅲ類	井上彩	他3名

◆第75回日本学校農業クラブ東北連盟大会・秋田大会

プロジェクト発表会 分野Ⅱ類
優秀 下山こも 他3名
クラブ活動紹介発表
優秀 庄司 晋 他3名

◆第75回日本学校農業クラブ全国大会・岩手大会

農業鑑定競技 優秀 庄司 晋

◆毎日農業記録賞

優秀賞 杏澤魁良

・工業科・課題研究

◆第17回 風力発電コンペ WINCOM2024

水平軸風力発電機 部門 デザイン賞
五十嵐斗哉、笹原悠雅、佐藤路偉(3-4)
垂直軸風力発電機 部門 アイデア賞
竹村忠直、高橋海翔、木村隼成(3-3)

◆全日本製造業コマ大戦むらさん場所2024

準優勝 高橋京吾(3-3)

◆全日本製造業コマ大戦2024東北地区学生大会

優勝 竹村忠直(3-3)
準優勝 佐々木太成(3-3)

<文化部・生産部>

・書道部

◆第48回山形県高等学校総合文化祭・書道部門

入選 滝口矢恵(2-5)、鈴木ゆうり(2-5)
入選 増川日菜(1-5)、丸川花音(1-5)

◆第35回大ケヤキ全国書道絵画展

特別賞 筆塚賞 滝口矢恵(2-5)
優秀賞 斉藤暖空(2-5)、鈴木ゆうり(2-5)
優秀賞 小室美紅(1-2)、増川日菜(1-5)
優秀団体賞 山形県立村山産業高等学校

・美術部

◆第48回山形県高等学校総合文化祭美術・工芸部門

奨励賞 瀬野安璃(1-5)

◆令和6年度最北地区高等学校美術部展

優秀賞 瀬野安璃(1-5)

◆令和6年度明るい選挙啓発ポスターコンクール

県審査入選 伊藤弥紗(2-2)、斉藤美空(2-4)

・ビジネス部

◆山形県高等学校新人ワープロ競技大会

団体	2位	梅津 真生・佐藤 充真・阿部悠大
個人	2位	梅津 真生
	5位	佐藤 充真

・機械探究部

◆第33回メカトロアイデアコンテスト

2位(全国大会 出場権獲得)
高橋京吾、竹村忠直、清野倅来、遠藤誉仁
星川怜央
ロボット名：S・H・R

<その他>

◆令和6年度校内読書コンクール

最優秀 阿部悠大(2-4)
優秀 鈴木実那(2-2)
優良 西塚 丞(1-4)、門脇健三郎(2-1)
佐竹水雪雨(2-2)
奨励賞 高橋成実(1-5)、中嶋琉衣(2-4)

◆青少年読書感想文コンクール全国コンクール

最北支部審査

佳作 阿部悠大(2-4)、鈴木実那(2-2)

◆村山地区防犯協会連合会 標語(高校の部)

最優秀 星川蓮音(3-1)
優秀 菅野琳煌(3-1)
優良 加藤 暖(3-4)
佳作 高橋央莉(3-1)、清野倅来(3-3)
深瀬 拳(3-3)、板垣歩斗(3-1)
落合翔太(3-1)、天野夢希(3-5)
齋藤大河(3-5)、佐々木礼菜(3-5)

◆令和6年度第21回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール

優秀 中嶋琉衣(2-4)

むらさんギャラリー



農業経営科



みどり活用科



機械科



野球応援 保護者、OBの応援



流通ビジネス科



文化祭で初めての全校芋煮会



学習成果発表会 保護者の出席多数



学校の特色を活かした本校のPTA活動が認められ、「文部科学大臣賞」及び「県教育委員会表彰」を受賞することができました。

文化祭での「餅振る舞い」、年2回の広報誌の発行、マナーアップ週間における登下校時のあいさつ運動、むらやま徳内祭りでの山車行列参加、巡回指導

「文部科学大臣表彰」
「県教育委員会表彰」
を受賞しました

春のPTA総会で要望のあったスクールランチについて、なかなか業者選定が進まず、年明けになってしまいました。が、ようやく決まり、生徒の弁当購入が可能になりました。まだ、メニューが「かつ丼」と「唐揚げ弁当」ですが、今後、売り上げ状況をみて、メニューのレパートリーを増やすそうです。是非、多くの生徒に使っていただき、「スクラン」の継続をお願いいたします。



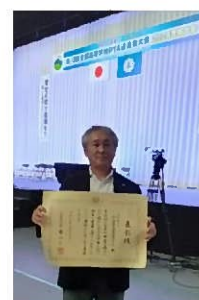
弁当の購入が可能になりました



第二十二号は、従来の紙面ではなく、Webでの配信となりました。皆さまのご協力のおかげで何とか発行することができました。御覧ください。

(広報委員長 下山国弘)

編集後記



などの活動が認められたものです。皆さまのご協力、誠にありがとうございました。